

# 非常通信セミナー2024

## 令和6年度北海道地方非常通信協議会

参加無料・要申込

ハイブリッド



画像:講演各社提供

甚大な被害をもたらした令和6年能登半島地震では通信インフラにも大きな被害が発生しました。自治体が整備した防災行政無線では、一部の自治体で運用に支障が発生しました。また、避難所におけるネット環境の確保など、自治体職員自身も被災者となる激甚災害下では多種多様な課題が明らかになりました。一方、携帯電話事業者各社では、発災の2～3日後に基地局の停波がピークとなり、被災状況の把握や救急救援活動に支障が生じたほか、地域住民は情報の取得が困難となりました。本セミナーでは、これらの課題を教訓とした総務省や通信事業者各社の取組や将来的な体制整備をご紹介します。

あわせて、本セミナーの冒頭に、非常時の通信確保に尽力した団体1者を表彰します。

～令和6年能登半島地震の教訓を踏まえる総務省と通信事業者の新たな施策展開～

<プログラム> (概要は裏面をご覧ください。)

13:30～13:40	開会・主催者挨拶 北海道地方非常通信協議会会長（北海道総合通信局長）高田 義久
表彰式 13:40～13:45	被表彰者：てしおハマクラブ 様
基調講演, 13:45～14:15	演題：「能登半島地震などにおける情報通信の重要性と組織間連携の取組み」 講師：国立研究開発法人防災科学技術研究所 災害過程研究部門主幹研究員 宇田川 真之 氏
講演 1 14:15～14:35	演題：「能登半島地震におけるドコモのインフラ復旧及び復興支援の取組み」 講師：株式会社NTTドコモ北海道支社 災害対策室長 下川 真由子 氏
講演 2 14:35～14:55	演題：「能登半島地震における携帯エリア復旧の取組みと今後の課題」 講師：ソフトバンク株式会社 テクノロジーユニット統括 エリア建設本部 北海道ネットワーク技術部 部長 吉田 安範 氏
14:55～15:05	休憩
講演 3 15:05～15:25	演題：「能登半島地震でのStarlinkによる支援対応とStarlinkを活用したインフラ整備・DX促進事例」 講師：KDDI株式会社 営業推進部 地域共創営業1G 鈴木 大和 氏
講演 4 15:25～15:55	演題：「令和6年能登半島地震対応の経験等に基づく災害時の通信に向けた検討」 説明：総務省総合通信基盤局電波部 基幹・衛星移動通信課重要無線室長 中川 拓哉
機器展示 15:55～16:35	講演各社及び株式会社インターネットイニシアティブ (IIT)による各社10分の機器展示説明 (会場参加の方は開会前30分、休憩時間及び閉会后20分に展示ブースをご覧くださいませ。)

3月19日(水)  
13:30～  
17:00

会場：TKP札幌駅カンファレンスセンター ホール2B（受付開始12:30）

札幌市北区北7条西2-9 ベルヴェオオフィス札幌 2階

定員：会場50名、オンライン500名（申し込み締め切り3月17日(月)）

Hybrid：(Microsoft Teams) URLはお申込み後にご案内

問い合わせ先：北海道総合通信局内 北海道地方非常通信協議会事務局 011-709-2311（内4651）

<お申込み方法>

裏面をご覧ください。

主催 北海道地方非常通信協議会、北海道テレコム懇談会、北海道総合通信局

## <プログラムの概要>

### <ご挨拶>：北海道地方非常通信協議会会長（北海道総合通信局長） 高田 義久



令和6年能登半島地震の発生から1年3か月が経ちました。また、復興のさ中に発生した奥能登豪雨から6か月が過ぎようとしています。あらためて亡くなられた方々に心より哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、復興支援に尽力されている多くの関係者の皆様に敬意を表します。石川県の1日も早い復興をお祈りいたします。さて、この度の能登半島地震は前例のない大きな災害でありましたが、北海道においても、日本海溝・千島海溝周辺海溝型の巨大地震対策等が求められているところです。本セミナーが、皆様の災害対策の一助となっただけのことを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

### <表彰式>：てしおハムクラブ 様



昭和53年にクラブ局を結成以来、非常通信協議会に加盟し、地域の非常通信訓練等に積極的に参加するほか、平成10年には災害情報の通信連絡の協力に関する協定を天塩町と締結するなど非常時の通信確保に尽力されました。

### <基調講演>：「能登半島地震などにおける情報通信の重要性と組織間連携の取組み」

令和6年能登半島地震の検証事業等における整理課題や、課題改善に関わる取組み状況など、今後に向けた観点を皆様と共有していただきます。

### <講演1>：「能登半島地震におけるドコモのインフラ復旧及び復興支援の取組み」



令和6年能登半島地震直後の初動段階から「あらゆるお客さまを助ける」という使命感をもって、のべ1万人が関わる形で、各行政組織、企業、関係団体など一丸となり、復旧・復興に取り組んだ同社から、皆様の災害対策の一助となることを願い、同社グループが通信キャリア、またICT事業者として災害現場で接した内容の一端をご紹介します。

### <講演2>：「能登半島地震における携帯エリア復旧の取組みと今後の課題」



厳冬期に発生した令和6年能登半島地震の通信インフラの復旧活動は非常に難易度の高いものでした。この経験を皆様と共有させていただくとともに、今後のソフトバンクとしての災害時の取組みについて、ご紹介いたします。同社では、自治体および関係各機関の皆様との協力体制をより一層強化し、通信インフラの早期復旧を目指すとしています。

### <講演3>：「能登半島地震でのStarlinkによる支援対応とStarlinkを活用したインフラ整備・DX促進事例」



令和6年能登半島地震では災害現場や避難所等でネット環境の確保に活躍したStarlinkについて今一度、当時を振り返ってその対応状況をご説明いただき、そこから顕在化した課題を踏まえた今後のあるべき姿を皆様と再度、情報共有していただきます。あわせて、Starlinkの仕様・環境耐性・利用料金、使用実績等についてもご説明いただくことで、災害時のみならず平常時のインフラ整備とDX化の促事例について最新情報をご紹介します。

### <講演4>：「令和6年能登半島地震対応の経験等に基づく災害時の通信に向けた検討」



自治体職員も被災者となるような激甚災害下における通信確保の在り方と被災状況収集を官民連携で対応する総務省の体制の整備に係る新たな取組みをご紹介します。

## <お申込み方法>

### Microsoft Formsからお申込みの場合

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=6DkBnJj0qvMEVxNh0TRGkcx72irs1DpER5niDnNYdUMFILMvDCQzZTNjdQT1JMRTBaQkMzU1JOTS4u>



### メールでお申込みの場合

下記URLの申込書をご利用ください。

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2025/0311a.html>